

< 特別寄稿 >

正山征洋先生のご厚意で所蔵されている「ボタニカルアート」の一部を紹介していただく事になりました。大変貴重で興味深く、芸術性も高い作品に加え先生自ら解説されています。

ボタニカルアート

九州大学名誉教授・長崎国際大学名誉教授

正山征洋先生

第68回

セイヨウヤドリギ



セイヨウヤドリギの白い果実がついています。ヤドリギの仲間は果実が鳥についばまれ、鳥が樹木に糞をするとねばねばした種子が樹皮にくっついてそこで発芽し、寄生して育ち、枝がボール状に生育してゆきます。

枝や葉の生薬名は桑寄生（そうきせい）で血圧降下作用、利尿作用を目的に民間薬として用いられます。また漢方薬として桑寄散や独活桑寄湯に配合されます。前者は頭痛、降圧、利尿、リュウマチや神経痛に、後者はしびれ痛み、関節痛、腰痛等に用いられます。

ヤドリギはヨーロッパでは浸剤、煎剤、粉末剤、エキス剤、手浴・足浴剤とし痛み等の外用に用いられます。中には赤ワインの浸剤も見られます。なお、ヨーロッパにおいては抗がん作用を有するサプリメントとして良く知られています。

ターピンによる画で1700年代末の作です。